

加茂川ブロック小中一貫教育構想図



加茂川ブロック小中学校



小中9年間を通して、豊かな学びと育ちを保障し
自らの未来を切り拓く児童生徒を育成する。

教育課題の共有化

- ★小中学校間での取組内容の提案・確認・調整
- ★小中学校間で連携した学習指導の研究

具体的な取組

- ◎教育活動の連続性【体験授業・交流会】
- ◎教職員間の「連携」と「協働」【小中合同研修会】

【総合的な学習の時間】
◎地域・人・キャリア
◆校区探検・豊かな出会い
◆地域の環境・文化、防災教育
◆生き方探究・発信

PTA

学校運営協議会

地域生徒指導連絡協議会

かもがわを美しくする運動

【道徳教育】◎豊かな心
◆ふれあい（なかよく）
◆ひろがり（気づき・協力）
◆つながり（思いやり・認め合う）
◆はばたき（より良く生きる）

9年間でめざす子ども像

◎自ら考え、ともに行動する中で

- ・自分を大切に、人を大切にする児童・生徒
- ・互いの立場や違いを認め合い、集団の中で成長できる児童・生徒
- ・夢や目標に向かって協働する児童・生徒
- ・人とのつながりを豊かにする「あいさつ」ができる児童・生徒を育成する。

◆他者との協働、対話的な学びによる、子ども同士のつながり・絆

- ◆知識の量だけにとどまらない、子どもたちの学びへの積極的な関与・深い理解
- ◆見通しを持って取り組むことによる、将来に対する不安の解消・進路展望の拡大
- ◆安全・安心な学校を見据えた新たな学校生活の構築
- ◆GIGA 端末の積極的活用による個別最適化された創造性を育む教育の推進

加茂川中学校

「未来を生きぬく学力と人間力の育成」
《めざす生徒像》
・「ありがとう」と感謝できる生徒
・「わからない」を大切に、自らの夢をつくり、目を輝かせて自ら学ぶ生徒
・仲間の良さに気づき、「よかった」と伝える事ができる生徒
・自分自身のことが「好きだ」と言える生徒
・未来への「こころざし」が語れる生徒
・取り組んできたことに「自信と誇り」を持って卒業できる生徒
～喜んで登校 満足して下校

紫竹小学校

「紫竹の風土、人の力に誇りをもち、自ら考え、判断し、共に生きる子どもの育成」
「主体的に学びを通して、お互いを高めあう力」
○笑顔で元気にあいさつする子ども（人間性）
○あきらめずチャレンジする子ども（学びに向かう力）
○主体的に学びに向き合う子ども（学びに向かう力）
○みんなで力を合わせて学びを作り上げる子ども（知識及び技能・思考力・判断力・表現力）
「会話のキャッチボール」（会話における相手思いや言葉のやり取り）

紫明小学校

創る つながる
I・相・あい ☺
【育成をめざす力（資質・能力）】
① みる力・わかる力（知識・理解）何を理解しているか・何ができるか
② あてにむかって、かいけつする力（思考・判断・表現）理解していること・できることをどう使うか
③ っしょにせいちょうする力（人間性）どのように社会と関わり、よりよい人生を送るか

元町小学校

よく聴き、よく考えて学びながら積極的に行動できる子どもの育成
～主体的に聴き、対話を通して学びを深める元町っ子～
「も」:もっと学びたいと思える子ども（確かな学力）
「と」:ともだちを大切にしたいと思える子ども（豊かな心）
「ま」:まいにち笑顔で過ごしたいと思える子ども（健やかな体）
「ち」:ちゃんと最後まで話が聴ける子ども（育成を目指す資質・能力）

上賀茂小学校

自ら考え行動し共に学ぶ子どもの育成
～喜んで登校 満足して下校～
「考え進んでする子」
思考・判断 主体性 計画性 社会性
「やさしい子」
思いやり 人権意識 実践力
「自分を好きな子」
自己肯定感 自己有用感 自己理解

